

平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

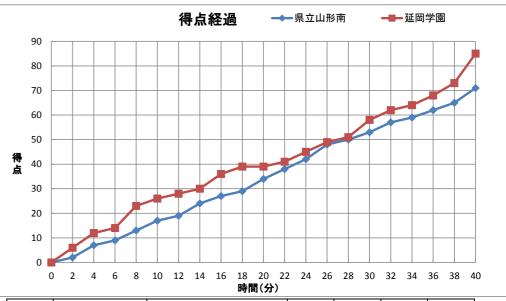
個人トータル表

男子				平原	戈27年7	月30日	13:20	開始
	2回戦		ハ	ンナリ	ーズア	リーナ	В	
県立山形南 (山形県)	71	17 17 19 18	1st 2nd 3rd 4th	26 13 19 27		85		可学園 「崎県)

_									_								
番	号	氏	名	得点	3P	2P	FT	反則	番	号	氏	名	得点	3P	2P	FT	反則
*	4	村上	魁人	0	0	0	0	0	*	4	石田	裕太郎	10	1	3	1	2
	5	仁藤	洸太	8	0	3	2	3		5	SYLLA	MAMADOU	0	0	0	0	1
	6	三浦	望	8	2	1	0	3	*	6	山田	颯士郎	10	0	3	4	0
*	7	後藤	大輝	32	0	13	6	5		7	池浦	健太郎	0	0	0	0	0
*	8	髙橋	壮太	2	0	1	0	1	*	8	田上	元己	11	1	4	0	1
	9	岡部	尚幸	_	-	-	-	-		9	ナロン 育	堂平 ショーン	1	0	0	1	1
	10	細谷	南雲	_	-	-	_	_		10	染川	昴	-	-	-	-	_
	11	森谷	真一朗	-	1	1	-	1		11	水谷	槙之介	0	0	0	0	0
	12	石畠	悠希	-	-	-	-	-		12	五代	雅己	8	0	4	0	3
*	13	斉藤	諒馬	19	0	9	1	4		13	渡辺	新	0	0	0	0	1
*	14	樋口	雄気	2	0	1	0	0	*	14	榎田	拓真	14	1	5	1	2
	15	大竹	翔	-	1	1	-	-	*	15	DIOP MAME (CHEIKH IBRAHIMA	31	0	14	3	4
]-	ーチ	細谷	尚寿					0]	ーチ	川添	裕司					0
Α⊐	ーチ	國松	真太郎						A=	1ーチ	内村	昌弘					
		合	計	71	2	28	9	16			合	計	85	3	33	10	15

主審: 伊藤 恒

副審: 大倉 哲也



СТО	1·2P			3•4P		OT1	OT2	ОТ3	OT4
TeamA	15:23	19:45	28:27	35:18	39:22	:	:	:	:
TeamB	18:42	:	26:37	:	:	:	:	:	:

〔戦 評〕

第1P、両チームともマンツーマンで試合開始。延岡学園は#15の高さを活かし得点を積み重ねる。山形南は、#13のバスケットカウントや、#7のミドルシュートが決まり、流れを渡さない。残り2分延岡学園は#14、#8の3Pが決まり、延岡学園の9点リードで第1P終了。

第2P、山形南はディフェンスを3ー2ゾーンに切り替える。その采配が効果を発揮し、流れに乗り始める。しかし、延岡学園は#15のダンクシュートや、#4の3Pで流れを引き戻す。流れが変わり始めたのは残り3分、山形南はマンツーマンディフェンスに切り替え、延岡学園はディフェンスを2ー3ゾーンに切り替える。山形南は、ドライブインや、リバウンドシュートが決まり追い上げる。延岡学園は、山形南の激しいディフェンスで、残り2分間無得点となる。34対39で延岡学園の5点リードで前半終了。

第3P、山形南#7のシュートやアシストが決まり得点を積み重ねていく。延岡学園は、#15がゴール下で強さを見せ得点を重ねていき、一進一退の攻防となる。延岡学園の5点リードのまま、第3P終了。

第4P、延岡学園は、ターンオーバーからの速攻を確実に決め、山形南は、リバウンドからの速攻を決め、 速い展開の試合となる。残り5分、山形南は#6の3Pが連続で決まり怒涛の追い上げを見せるが、残り2分、 延岡学園の#4が3Pを決め8点差へと引き離す。山形南は、ファウルゲームに持っていくが点差は縮まらず 71対85で延岡学園が勝利した。

戦評: 井上 瑛介 記録: 京都すばる高校